

# テクノロジーで課題に挑む 検証

## Verification

### スマート農業導入検証

県や市内の農業関係機関等で作る**安曇野市農業再生協議会**(以降、**再生協**)では、水稻の有機栽培で重要となる除草・抑草技術の検証のために、市内のほ場でさまざまな機械を使った効果検証を実施しました。検証結果は、市HPにて掲載していますので、ご覧ください。

問農政課 Tel.71-2427



▲走行することで田面を濡らせるリモコン式のロボット



▲稲と稲の間を除草する乗用有人機



◀自動航行プログラムで、水面に浮いた状態で除草するロボット

## INTERVIEW

再生協と一緒に検証を行った浅川さんに話を聞きました。

### 連携と新しい技術で課題に挑む

担い手が減少するなか、限られた労力で農業を行う省力化は農家にとって大きな課題です。その解決のために農家、農機具メーカー、再生協などが連携してこの課題に真っ向から向き合い、これからの農業を考える検証になったと思います。

手間の多い農業にとって、新しい技術を上手に取り入れていくことがこれからは、必要だと感じます。

### お互いを認め合って良さを出していく

農業を営み、有機栽培に挑戦した事で多様性について深く考えるようになりました。私自身、安定的な農業生産を実現するためには化学肥料や化学農薬の使用は必要だと思います。しかし、一方で害虫や病原菌を農薬などにより一切を駆除してしまう事も自然界においては不自然なことだとも思います。農業が行われている農業地帯の環境であっても病害虫も益虫も良い菌もバランスよく存在している事で保たれる環境こそが、農業において大切な事ではないかと思っています。

農業にはさまざまな農法もあり、兼業、専業、大規模、小規模など農家自体もさまざまです。それぞれがお互いを認め合いそれぞれの良さを出せたら良いのではないかと考えています。



㈱あづみのうか浅川  
代表取締役  
浅川拓郎さん



### 環境を考える 学校給食で有機米

市内小中学校の給食では、各学期に1回有機米が提供されており、私も提供しています。有機米は手がかかります。しかし、環境にやさしい方法で作られたお米を知ってもらおうと同時に、ほ場に生き物が増え、子どもたちがそれを見て、触れられる安曇野の豊かな農業環境が未来につながっていくと信じ、関係する人たちと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

日本の農業は近年、自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の課題に直面しています。それは安曇野市も例外ではありません。市では、県やJA等の関係機関、地域の農業者の皆さんと連携し、さまざまな取り組みを行い**持続可能な農業**を推進しています。今月号では、その取り組みの一部を紹介します。

問農政課 Tel.71-2427

# 持続可能な 安曇野の農業へ



## 取り組み①

### 農業の将来をみんなで考える

## 話し合い Discussion

市では皆さんがこれまで守り続けてきた農地をしっかりと未来に引き継ぐため、農地を耕作しやすいようにまとめたり、将来誰がどの農地を耕作するかを見える化する「**地域計画**」の策定を進めています。

関係する地域の皆さんへ

### 話し合い参加のお願い

地域計画を策定するにあたり、地域ごとに話し合う場を設けています。農地の耕作者、農業関係団体代表者、農業委員など、関係する皆さんの**積極的な参加**をお願いします。開催日程等の詳細は、市HPや通知等をご確認ください。

問農政課 Tel.71-2429



安曇野の農業の**未来**を考える話し合いに参加してね♪

安曇野市農業再生協議会  
みずん



現地確認スケジュールなど詳細は、**営農計画書裏面**または**市HP**をご覧ください。



農政課  
奥原沙知

農業経営者の皆さんへ

### 営農計画書提出のお願い

営農計画書は、市の水稻生産状況を把握するために必要な重要な書類です。現地確認ができなかった農地は、**交付金の対象外**になりますので**必ず提出**してください。

**対象者** 市内に水田を所有している農業者、地権者（利用権が設定されている場合は借主）  
※耕作をしない場合も提出をお願いします。

**提出期限** 令和**6年3月12日(火)**まで

**問合せ先** 農政課 Tel.71-2428

